

# 我孫子市学校給食施設整備方針



令和3年4月1日

我孫子市教育委員会

本市の学校給食は、全校単独調理場方式（自校方式）で実施しています。このような中、小学校の給食施設は大半が建築後30～40年以上経過しており、老朽化に伴う施設設備の修繕費・更新費が増大しています。一方、平成21年度に学校給食法において学校給食衛生管理基準が位置づけられ、食数に適した広さにすることや非汚染作業区域と汚染作業区域を部屋単位で区分する事、ドライシステム方式の導入に努めることなどが謳われています。また、食物アレルギー対応への配慮、児童生徒数の減少に対応したトータルコストの縮減など、多角的な視点での給食施設整備が必要となっています。こうした背景から、「我孫子市学校給食施設整備方針」では、児童生徒に安全で美味しい給食を提供するため、本市における学校給食のあり方を示します。

## I 学校給食施設整備基本方針

- ① 安全安心な学校給食の提供と衛生管理を徹底する
- ② 「学校給食衛生管理基準」に適合した施設整備を目指す
- ③ 食物アレルギー対応を安全に行える施設を目指す
- ④ 単独調理場方式（自校方式）を基本とする
- ⑤ 「我孫子市学校施設個別施設計画」に準拠する
- ⑥ 施設とともに設備の老朽化に伴う更新についても計画する
- ⑦ 児童生徒数の減少を踏まえ経済性・効率性に配慮した学校給食運営を推進する
- ⑧ 「小中一貫教育」への対応を考慮する
- ⑨ 地元農産物を活用した給食の充実と食育の推進を重視する
- ⑩ 給食の提供への支障が少なくなるように工期等を設定する

## II 給食運営方式の比較・検討

### 1. 給食運営方式別の一般的な特徴（詳細は別紙参照）

(1) 単独調理場方式（自校方式） ○…メリット ●…デメリット

- 調理後すぐに喫食できるため、適温での提供ができる
- 提供までの時間を短縮できるため、手作りを基本としたバラエティ豊かな給食を提供することができる
- 栄養教諭・栄養職員がいることで教職員との連携が図られ、栄養・給食指導等の食育が推進できる
- 19校の給食施設・設備に投資が必要
- 学校毎に栄養士の配置、調理業務委託料が必要

## (2) 親子方式

- 保温性に優れた食缶を使用すれば適温での提供は可能である
- 親校から近隣の学校に運ぶため、手作りを基本としたバラエティ豊かな給食を提供できる
- 栄養教諭・栄養職員が教職員との連携を図り、親校及び子校の食育全体計画を策定し、計画的に栄養・給食指導等の食育を推進する
- 給食施設・設備への投資は子校分減るが、搬出搬入関係の改修経費が必要
- 子校分の調理業務委託料が減るが、親校から子校への配送経費が必要

## (3) 共同調理場（センター）方式

- 保温性に優れた食缶を使用すれば適温での提供は可能だが、自校方式よりは劣る
- 栄養士の人件費、調理業務委託料が抑制できる
- 給食センター施設・設備に投資が必要
- 配送の関係で、献立内容の制約が多く、手作りメニューやバイキング・セレクト給食等の特色ある給食の実施は困難
- 栄養教諭・栄養職員が学校にいないため、栄養・給食指導等の食育が後退する

## 2. パターンの設定

### (1) パターン A

現在の給食運営方式を継続

内訳：単独調理場方式（自校方式） 19校

### (2) パターン B

一部の学校給食施設を親子方式に変更

内訳：単独調理場方式（自校方式） 15校、親子方式4校

親子方式：湖東小（親）湖西小（子） ・ 根小（親）並小（子）

### (3) パターン C

市内全校を共同調理場（センター）方式で統一

内訳：共同調理場（センター） 1施設

## 3. 給食室整備計画の検討内容（案）

別紙参照

#### 4. 各パターンの比較・検討

##### (1) 整備費（工事費、備品購入費）

パターン A・B について、学校給食衛生管理基準を踏まえたうえ、建設工事費＋備品購入費を試算しました。パターン B については、親子方式に変更する学校は、搬出と搬入を可能にするための工事が必要になるため、これも整備費に加算します。パターン C については、近隣市の事例を参考に記載しています。また、パターン C の場合、各学校には配膳室が必要になるため、これも整備費に加算します。パターン C の用地費については、市有地を活用する場合においては不要であり、新たに土地を取得する場合であっても土地の状況により価格が大きく異なることから算入していません。同様に造成費や側溝工事費についても算入していません。

##### パターン A

19校の改築、長寿命化改修等の概算費用は約21億円が見込まれる。  
(布佐中区、東小、西小の5校は各々、最小限の修繕費でコストを算出)

##### パターン B

15校の長寿命化改修の概算費用は約18億円が見込まれる。この他、4校を親子方式に変更するための親校給食室増改修と子校配膳室改修工事の概算費用は約2億円が見込まれる。

##### パターン C

近隣市の事例を参考にすると、建設にかかる概算費用は29億円前後が見込まれる。

##### (2) 運営費

パターン A・B・C について、1年間の運営費（調理業務委託料、栄養士人件費、施設維持管理費）を令和2年度予算額等により試算しました。なお、試算の対象としたのは、給食管理、調理・配送業務に直接関係のある項目とし、光熱水費、一般事務費（消耗品、事務職員人件費等）は算入しません。

##### パターン A

調理業務委託料は約416,883千円、栄養士人件費は約79,200千円、施設維持管理費は18,095千円、合計514,178千円

##### パターン B

調理業務委託料は約418,403千円、栄養士人件費は約61,600千円、施設維持管理費は16,285千円、合計496,288千円

## パターン C

近隣市の事例を参考にすると、運営費・維持管理費は、466,667千円  
栄養士人件費は11,800千円、合計478,467千円

### (3) ソフト面の比較

#### ①安全性

単独調理場方式（自校方式）、親子方式、共同調理場（センター）方式を比較した場合、各方式とも学校給食法に規定される学校給食衛生管理基準を遵守しなければならないことに変わりはないため、調理業務における衛生管理面での違いはありません。

なお、食中毒が発生した場合の被害については、センター方式は広範囲に及びます。

一方、給食センターが短期集中的に建設できる点に対し、親子方式、自校方式は校舎の改修計画とリンクさせて工事を行うため、実現までに長期間を要します。

#### ②献立内容・食育

自校方式や親子方式は、手作りを基本としたバラエティに富む献立内容であり、出来立ての給食が提供されることに対し、センター方式は、配送の関係で献立内容に制約があり、調理の仕上げ時間が早いため、食味が劣ります。

また、自校方式の場合、調理の様子（匂い、音など）を感じたり、栄養教諭等や調理員と触れ合ったりすることができますが、センター方式の学校では困難なため、配膳員との交流や専用見学コースを設けるなど調理の様子を学習できる仕組みを補完する必要があります。

地産地消については、年間計画に沿ってできるだけ我孫子市産の食材を購入することとしています。自校方式や親子方式では、ロット数が少ないため、栄養教諭等が柔軟に食材を調達でき、我孫子市の農業の特徴である少量多品目の野菜作りに合致しています。

#### ③切れ目のない給食提供

給食センターの建設、改修の工事期間中は、既存の給食施設により給食を提供することが可能です。

しかし、単独調理場の改修及び親子給食に係る改修工事期間中は、給食の提供が困難であり、家庭から弁当を持参する必要があります。

### Ⅲ総合評価・方向性

共同調理場（センター）方式には運営費を削減できる等のメリットがありますが、学校給食施設整備の基本方針に配慮し、自校方式を継続しながら、一部親子方式を検討します。

学校給食を継続的かつ安定的に提供するため、老朽化が進んでいる既存施設の改修を我孫子市学校施設個別施設計画に沿ってすすめます。（別紙整備計画参照）

布佐中区は、学校施設のあり方を今後検討する中で、給食施設の整備計画についても併せて考えていきます。

また、児童生徒数の減少を見据え、湖北台東小学校と湖北台西小学校の給食施設については、親子給食の検討を行いました。布佐中区に続き、湖北台中区内学校施設の複合化等の可能性を見据え、今後15年以内での親子給食への方式変更は行わないこととします。

なお、湖北台西小学校の給食施設は市内の中でも一番老朽化が進んでいることから、今後10～15年間維持できるレベルの修繕を行います。

根戸小学校と並木小学校の給食は、既存施設の改修費用が軽微ですむことから、給食及び食育の内容について、自校方式と同レベルの質を確保することを条件として、将来的には親子方式への変更を検討します。

給食実施方式（一般的な特徴）				
項目	自校方式	センター（共同調理場）方式	親子方式	デリバリー食缶（民間調理場）方式
学校給食の目標 （学校給食法第2条）	1 適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。 2 日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び望ましい食習慣を養うこと。 3 学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。 4 食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。 5 食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと。 6 我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。 7 食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと。			
実施方式	学校に給食室を設置して校内で給食を調理する方式 各学校で調理、配膳、洗浄まで行う	複数の学校の給食を1つの調理場で調理し、専用の配送車で各学校へ配食する方式 各学校では調理・洗浄作業は行わない	自校方式の親校が近隣の子校の分の給食も調理し、専用の配送車で子校へ配食する方式 子校では配膳員が給食を受け取り、各学級に配膳する。子校では調理・洗浄作業は行わない	外部の給食業者に委託し給食業務を分散して行う方式 食缶で提供する方式と弁当箱で提供する方式がある
衛生管理	食中毒が発生した場合の被害最小限	食中毒が発生した場合の被害は広範囲に及ぶおそれあり	食中毒が発生した場合の被害は少ない	食中毒が発生した場合の被害は広範囲に及ぶおそれあり
適温提供	調理後すぐに喫食できるため、適温での提供ができる	保温性に優れた食缶を使用すれば適温での提供は可能だが自校方式よりは劣る	保温性に優れた食缶を使用すれば適温での提供ができる	保温性に優れた食缶を使用すれば適温での提供は可能だが自校方式よりは劣る
配送面	配送がないため、特に問題なし	配送に伴うため、事故等により提供が遅れるリスクあり	配送は伴うが、動線が短いためリスクを最小限に抑えることができる	配送が伴うため、事故等により提供が遅れるリスクあり。自治体外の民間調理場の場合リスクさらに増す
献立内容	提供までの時間を短縮できるため、手作りを基本としたバラエティ豊かな給食を提供することができる。また、地産地消が推進しやすい	配送の関係で、献立内容の制約が多く、手作りメニューやバイキング・セレクト給食等の特色ある給食の実施や地産地消の推進は困難である	親校から近隣の学校に運ぶため、手作りを基本としたバラエティ豊かな給食を提供することができる。また、地産地消が推進しやすい	配送の関係で、献立内容の制約が多く、手作りメニューやバイキング・セレクト給食等の特色ある給食の実施や地産地消の推進は困難である
食育	栄養教諭・栄養職員がいることで教職員との連携が図られ、栄養・給食指導等の食育が推進できる。また、子どもと調理員のコミュニケーションがあり、調理の苦労が理解しやすい感謝の気持ちが育まれる	栄養教諭・栄養職員が学校にいないため、栄養・給食指導等の食育が後退する	栄養教諭・栄養職員が教職員との連携を図り、親校及び子校の食育全体計画を策定し、計画的に栄養・給食指導等の食育を実施する	栄養教諭・栄養職員が学校にいないため、栄養・給食指導等の食育が後退する
アレルギー対策	個別のアレルギー対応が可能	より安全な独立した除去食調理室の設置が可能 個別のアレルギー対応は困難	個別のアレルギー対応が可能	個別のアレルギー対応は困難
施設管理費用	各校で給食施設・設備に投資が必要	用地取得、給食センター建設、調理機器等購入・維持管理に多額の経費が必要	調理機器増設や給食室増改修及び配膳室整備の経費が必要、または親校・子校ともに搬出・搬入のための改修が必要	民間事業者の調理施設を使用するため、施設管理費用の抑制は可能
運営費用	・学校ごとに調理業務委託料必要 多額の経費がかかる ・学校ごとに栄養士の配置が必要	・1箇所で作れるため、調理業務委託料の抑制が可能。 ・学校までの配送料がかかる。 ・センターに栄養士の配置が必要 ・各学校に配膳員の配置が必要	・調理業務委託料は配送費用を含まなければ子校分が減額となり経費の抑制が可能 ・親校から子校までの配送費用がかかる ・子校に配膳員の配置が必要 ・親子両校を一人の栄養士が兼務する	・1箇所で作れるため、調理業務委託料は抑制できるが、割高になるおそれあり ・各校への配送費がかかる ・各校に配膳員の配置が必要
その他		建築基準法上、共同調理場の用途は「工場」になるため、原則として建設場所は工業系の用途地域に限られる	他校へ給食を配送する場合、親校の給食室の用途は建築基準法上「工場」となるため、用途地域が工業系以外の場合は、建築基準法第48条ただし書の許可が必要	近隣（調理後2時間以内に喫食可能な地域）に食缶方式及び弁当箱による給食を長期的に提供できる民間業者が確保できない
事例	我孫子市全校 八王子市立小中学校 柏市（給食センター式と併用）	川口市 戸田市 柏市（自校方式と併用） 八王子市（現在、4センター建設中）	神奈川県愛川町 八王子市（一部小中学校で実施）※2	北海道伊達市学校給食センター（PFI活用）※1 石川県野々市市給食センター（PFI活用） 八王子市小中学校（弁当のデリバリー）

※2 八王子市は自校式、親子式、弁当デリバリーの3方式で運用。新たに給食センター方式も採用。

※1 近隣の社管町の小中学校4校の給食も調理、配食

我孫子市 給食室整備計画の検討内容

区分	学校名	構造他	建築年	築年数	現状面積 (㎡)	検討内容	実施時期 (年度)	検討内容					給食数	児童生徒数 (人)				
								①改築 コスト	②改修 コスト	③親子 コスト	④親子 コスト	R 1		R 11	R 21	R 31		
1	湖北台西小学校	RC造 (併設)	S 4 7 . 1	48	121	①改築	2022	330㎡	1.4億円				335	300	243	264	233	
						②最小限の修繕	2022			182㎡	0.1億円							
						③親子 (親: 東小) 配膳室改修	2022					89㎡						0.2億円
2	我孫子第一小学校	RC造 (併設)	S 4 6 . 3	49	128	改築校舎に併設して整備	2032	330㎡	1.1億円			590	539	392	443	408		
		W造 増築+ボイラー室	S 4 9 . 9	45	55													
3	我孫子第四小学校	RC造+ボイラー室3㎡ (併設)	S 5 3 . 3	42	232	①案: 改築部分の1階に整備	2024	425㎡	1.4億円			958	883	846	734	658		
						②案: 改修+増築 (232㎡→425㎡)	2024			425㎡	1.0億円							
4	高野山小学校	RC造 (併設)	S 5 0 . 3	45	117	②改修 (改修+増築) (217㎡→425㎡)	2030			425㎡	1.1億円	670	607	476	522	457		
		RC造 増築 (併設)	S 5 5 . 1 1	39	100													
5	我孫子第三小学校	RC造 (併設)	S 5 0 . 1 2	44	108	②改修 (改修+増築) (232㎡→425㎡)	2028			425㎡	1.0億円	785	720	696	586	558		
		RC造 増築	S 5 9 . 3	36	124													
6	我孫子第二小学校	RC造 (併設)	S 5 3 . 5	41	181	②改修 (改修+増築) (192㎡→330㎡)	2047			330㎡	0.8億円	455	418	514	477	366		
		S造 増築+ボイラー室3㎡ (併設)	S 6 2 . 9	32	11													
7	新木小学校	RC造 (併設)	S 5 5 . 4	39	192	②改修 (改修+増築) (210㎡→330㎡)	2035			330㎡	0.8億円	505	454	302	319	322		
		S造 増築	S 6 0 . 3	35	18													
8	並木小学校	RC造 (併設)	S 5 6 . 4	38	268	②改修 (改修+増築) (268㎡→330㎡)	2023			330㎡	0.7億円	400	361	308	271	276		
						③親子 (親: 根戸小) (268㎡のうち100㎡を配膳室)	2037										100㎡	0.2億円
9	布佐南小学校	RC造 (併設)	S 5 8 . 3	37	281	適正配置で検討 (最小限の修繕)					0.1億円	191	169	213	221	180		
10	布佐小学校	RC造 (併設)	S 5 0 . 3	45	167	適正配置で検討 (最小限の修繕)					0.1億円	233	199	218	238	163		
		RC造 増築	S 5 7 . 8	37	15													
11	湖北小学校	RC造 (併設)	S 5 2 . 5	42	212	②改修 (改修+増築) (221㎡→330㎡)	2037			330㎡	0.7億円	400	360	292	286	253		
		S造 検収室増築	H 1 5 . 9	16	9													
12	湖北台東小学校	RC造+ボイラー室4㎡+倉庫3㎡ (併設)	S 5 2 . 3	43	186	②最小限の修繕	2028			186㎡	0.1億円	334	294	193	220	214		
						②大規模改修	2028			186㎡	0.3億円						400㎡	1.3億円
						③親子 (子: 西小) 増築・新築	2028										207㎡	1.0億円
13	白山中学校	RC造 (独立棟)	H 0 5 . 2	27	332	②改修 (改修+増築) (332㎡→425㎡)	2030			425㎡	0.8億円	850	794	588	561	517		
14	湖北台中学校	S造 増築 (独立棟)	H 0 8 . 3	22	314	②改修 (改修+増築) (314㎡→330㎡)	2036			330㎡	0.6億円	360	319	175	221	231		
15	布佐中学校	S造 増築 (独立棟)	H 0 9 . 2	23	319	適正配置で検討 (最小限の修繕)					0.1億円	244	210	171	215	178		
16	我孫子中学校	S造 増築 (併設)	H 1 0 . 2	21	395	②改修 (改修+増築) (395㎡→425㎡)	2022			425㎡	0.8億円	918	884	781	702	643		
17	湖北中学校	RC造 (独立棟)	H 1 1 . 3	20	321	②改修 (改修+増築) (321㎡→330㎡)	2040			330㎡	0.6億円	442	404	306	277	286		
18	久寺家中学校	S造 (独立棟)	H 1 1 . 3	20	307	②改修 (改修+増築) (307㎡→425㎡)	2040			425㎡	0.9億円	620	575	395	303	396		
19	根戸小学校	RC造 (併設)	H 2 0 . 3	12	438	②改修	2037			438㎡	0.7億円	961	894	567	696	779		

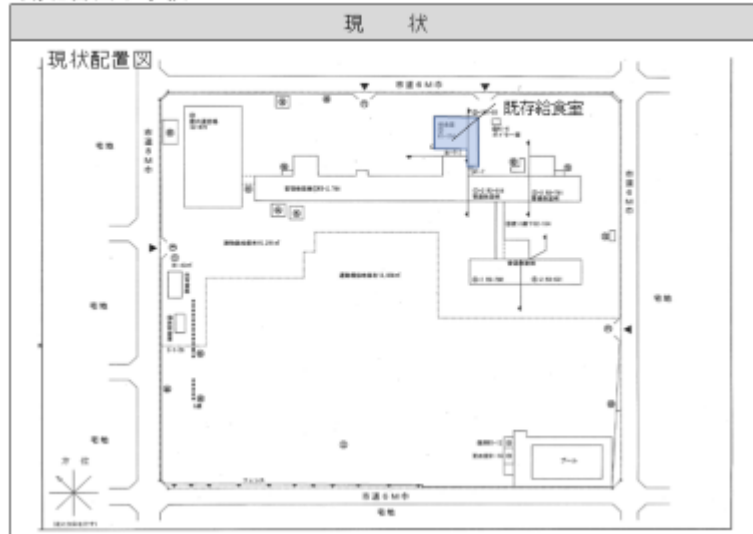
3.9億円

11.3億円

2.9億円



### 湖北台西小学校



**整 備 案**

②案 大規模改修

①案 改築 330㎡ 既存は解体

管理棟(2階)R3-2, 784

普通教室棟

②-1R1-55

②-1R1-56

②-1R1-57

②-2R3-614

②-1R3-761

DW

2・3F配膳室 30㎡×2フロア

普通教室棟

②-1R3-760

②-2R3-531

面積10,251㎡

運動場面積約12,058㎡

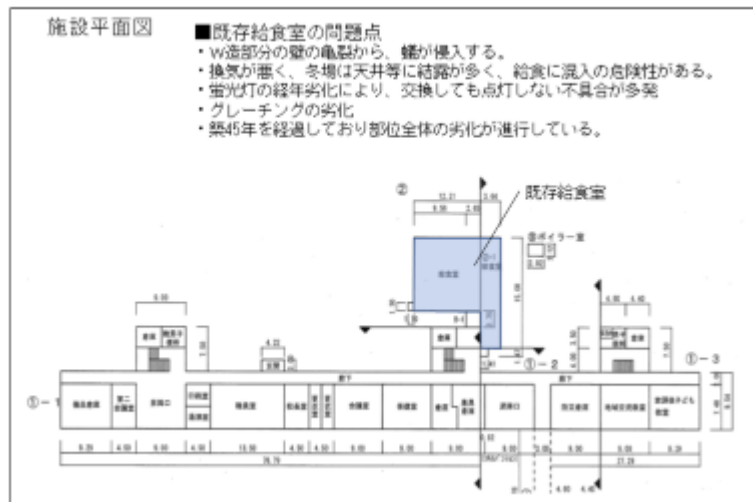
①案 改築

項目・仕様	数量	単価	金額(千円)
改築(S造)	330㎡	33万円/㎡	108,900
解体	182㎡	3万円/㎡	5,460
配膳室2・3階(30㎡×2)	60㎡	33万円/㎡	19,800
DW	1基	800万円	8,000
計			142,160

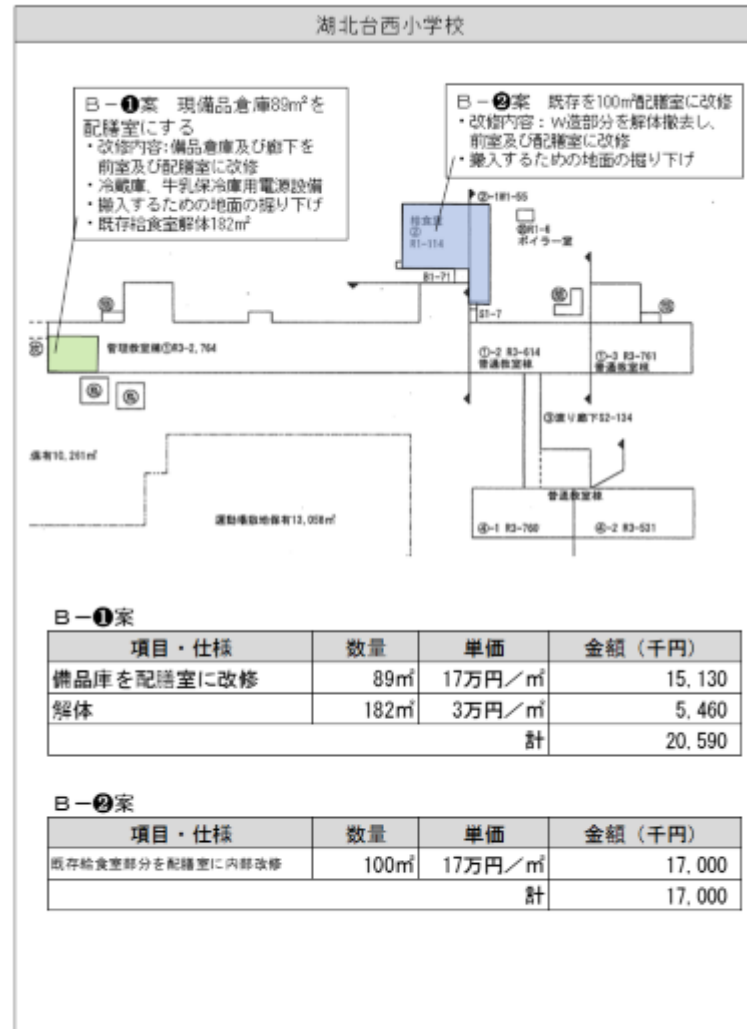
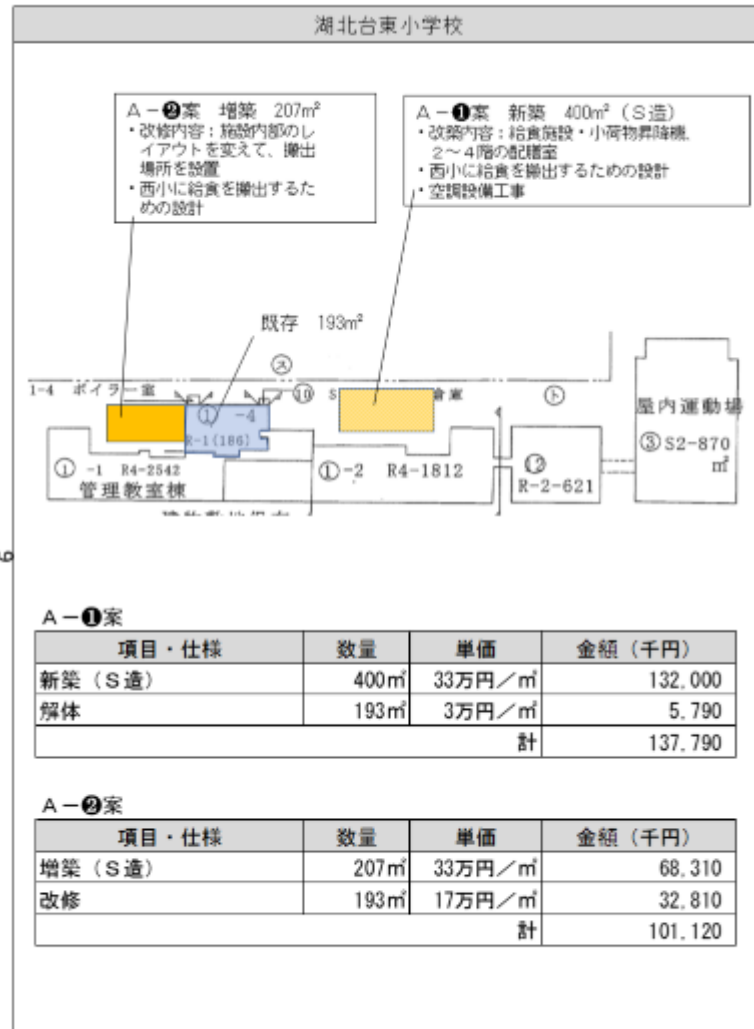
②案 大規模改修

項目・仕様	数量	単価	金額(千円)
大規模改修	182㎡	8万円/㎡	14,560
改修内容 検収した処理コーナー ・壁付換気扇の修理 調理室 ・屋上給排気設備の修繕 ・グレーチング枠の修繕 洗浄室、配膳室(W造) ・外壁の改修 共通事項 ・屋上防水工事 ・蛍光灯をLEDに交換			
計			14,560

00



親子方式（親・東小→子・西小）



給食施設整備計画案

	学校名	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)	2033 (R15)	2034 (R16)	2035 (R17)	2036 (R18)	2037 (R19)	2038 (R20)	2039 (R21)	2040 (R22)	2041 (R23)	
10	久寺 家 中 学 校 区	根小 並小 久中		並小 部分修繕 (屋上防水 換気設備)												根戸小と並 木小との親 子給食検討		根小 改修 (親子給食 への改修)			久中 屋上防水 換気設備	久中 屋上防水 換気設備	
	白 山 中 学 校 区	一 小 四 小 白 中			四小 改築または 改修	四小 改築または 改修	四小 改築または 改修				白中 修繕	白中 修繕	一 小 改築	一 小 改築	一 小 改築								
	我 孫 子 中 学 校 区	高 小 二 小 三 小 我 中		我中 屋上防水 換気設備	二小 部分修繕					三小 改修	三小 改修	高小 改修	高小 改修										
	湖 北 台 中 学 校 区	西 小 東 小 台 中		西小 改修						東小 改修 レベル検討 (仮)	東小 改修 レベル検討 (仮)	適正規模・ 適正配置、 施設の複合 化の検討 (仮)							台中 修繕 (仮)	台中 修繕 (仮)			
	湖 北 中 学 校 区	湖 小 新 小 湖 中															新小 改修				湖小 改修	湖中 屋上防水 換気設備	湖中 屋上防水 換気設備
	布 佐 中 学 校 区	布 小 南 小 布 中	適正規模・ 適正配置の 具体的な検 討、市民と の合意形成 (仮)			南小 改修 (仮)	南小 改修 (仮)											布小 改築 (仮)	布小 改築 (仮)	布中 改修 (仮)			